

福津のご紹介

福津は、福岡市と北九州市という2つの大都市の間に位置する、玄界灘に面した小さな市です。この地域には、田畑があり、砂浜があり、保存状態のよい明治時代（1868～1912年）の家が並ぶ歴史的な商業地区があります。

有名な神社と海水浴場

福津で最も有名なのは宮地嶽神社です。この大きな神社は、海に至る長い真っすぐな道（「光の道」と呼ばれています）の端にあります。年に2回、沈む夕陽が「光の道」のちょうど正面に見え、この道は黄金の光に輝きます。

福津には広い砂浜があります。津屋崎、宮地浜、福間が主な海水浴場で、カフェ、レストラン、マリンスポーツショップがあります。白石浜は、より静かな砂浜です。

世界遺産

"「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群"は、2017年に世界遺産として指定されました。福津を訪れる人は、新原・奴山古墳群を見ることができます。その41基の古墳は、この地域を16世紀まで統治した宗像氏の人々のために5～6世紀に作られたものです。

歴史ある津屋崎千軒地区

江戸時代（1603～1867年）の間、津屋崎千軒地区は、豊かな商業の町でした。この地域の製塩業のおかげです。当時、この地区には、千軒を超える家があると言われていました。江戸時代の家のはほとんどは焼けてしまいましたが、明治時代のすぐれた建築はいくつか残っています。

7月、津屋崎祇園山笠祭りの間、津屋崎地区の狭い通りは、見物客で混み合います。福津の3つの地域を代表する各組が、飾りつけた木製の山車を担ぎ、通りを走って競争します。このお祭りの起源は、300年以上前にさかのぼります。